

学習指導案(国語科)

教育実習生名  
指導教員名

- 一 対象 第一学年 五組 三十六名
- 二 日時 平成二十九年六月二十一日(水曜日) 第二校時
- 三 場所 一年五組 教室
- 四 単元名(教材名) 物語 『星の花が降る』
- 五 単元について

(1) 教材観

本教材は、学習する生徒と同じ中学一年生である主人公の「私」が、中学校に入学したことによって変化してしまった友人関係に悩み、周囲との関わりの中で新たな道を見つけていくという内容の物語である。学校での友人関係の悩みと私の成長を描いた身近な作品であるため、登場人物の心情に共感しながら学習できると考えられる。また、この作品には、主人公の心情と細かな情景描写が散りばめられており、その描写の持つ意味を考えることで、生徒の「想像力」「考える力」を高められると考える。

(2) 生徒観

中学校に入学して、二ヶ月半、中学校での生活やクラスにも慣れてきた様子で、授業では、意欲的に自分の意見・考えを持ち、学びを深めようとする姿勢が見られる。しかし、勉強や友人関係等で新たな悩みも出てくる頃ではないかと思われる。そこで、物語の中で主人公が、周囲からの気づきを得ることで、友人関係の悩みに対して新たな見方、考え方を見つけ乗り越えることができたように、生徒達にも周囲に目を向け、新たな視点から物事を見ることができるようになってほしい。

(3) 指導観

本教材は、分かりやすい主人公の心情描写の他に、細かな情景描写がいくつもある。その描写が何を意味し、何を象徴しているのかについて想像させ、考えさせることで、登場人物の行動や感情をとらえる力を身につけさせたい。また、単元を通して、自分の考え・意見を文章にまとめる練習をする。その際、どうしてそういう考え・意見になり得るのかを、作品中より根拠を挙げて述べさせ、根拠を明確にして自分の考えや意見をまとめる力を養いたい。

六 単元の目標

- ・ 作品中の描写から、登場人物の心情の変化を読み取ることができる。
- ・ 登場人物の行動や感情を的確にとらえる力を身につける。
- ・ 根拠を明確にして、自分の考え・意見を文章にまとめることができる。

七 単元の評価規準

書く能力	<p>・ 登場人物の心情を想像して様々な見方で読み味わい、自分の意見を持つようとしている。</p> <p>・ 作品中より根拠を明確にしながら、登場人物の心情を想像して自分の考え・意見を文章に書くことができる。</p>
------	--

八 単元の指導計画(単元目標を達成するための指導計画を示す。)

言語についての知識・理解・技能	読む能力
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心情描写・情景描写から、登場人物の心情の変化を読み取っている。</li> <li>・ 作品中で象徴している物の意味について考え、自分の意見を持っている。</li> <li>・ 文章の中で漢字や語句を正しく用いて文章を書いている。</li> </ul>

次時	学習活動	指導上の留意点	評価基準(評価の観点)
一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品を通読し、全体像をつかむ。</li> <li>・ 作品を四つの場面に分ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の授業を進める上で重要な本文の通読であるので、集中して取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に取り組む姿勢である。【関】</li> </ul>
二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物や場面展開を確認する。</li> <li>・ 興味・関心を持った登場人物について考えを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適当な発問で、考える道筋を示しつつ、生徒自身で考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物間の関係を、本文中から読み取ることができる。【読】</li> <li>・ 自分の考えを文章にすることができる。【書】</li> </ul>
三	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品中での「私」の「夏実」に対する心情の変化を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語の重要な部分であるので、時間をかけて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人公の心情が変化する部分に気づくことができる。【読】</li> <li>・ 自分の考え・意見を文章にまとめることができる。【書】</li> </ul>
四	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人公の心情の変化のきっかけをとらえる。</li> <li>・ 作品中での「私」の「戸部君」に対する心情の変化をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に引き続き、時間をかけて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人公の心情の変化のきっかけに気づくことができる。【読】</li> <li>・ 自分の考え・意見を文章にまとめることができる。【書】</li> </ul>
五	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情景描写が象徴するものについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「象徴」の意味についても確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 象徴しているものについて、自分の考え・意見をもつことができる。【読・関】</li> </ul>

九 本時案(第一次第四時)

(1) 本時の目標

- ・「私」の「夏実」に対する心情変化のきっかけをとらえる。
- ・「私」の「戸部君」に対する心情変化をとらえる。

(2) 本時の展開

時	導入 5 分	展開 4 0 分	まとめ 5 分
学習活動	・前時の振り返り	・物語の中で、「私」の「戸部君」への思い・見方はどう変化したかを考える。(ソロ)	・本時の振り返り
指導上の留意点	・「私」の「夏実」に対する心情変化があったことを確認する。	・「私」の変化の「きっかけ」になった戸部君と私の関係に着目することを伝える。 ・「私」の「夏実」への気持ちに変化が起こった「きっかけ」は何か。(ワークシート) ・戸部君がボールを磨いている様子を見て、自分の考えていたことが小さくくだらないことかと思えてきたこと。 ・掃除のおばさんの言葉で私が、銀木犀の葉は落ちるということを知ったこと。	・振り返りシートを記入させる。
評価基準 (評価の観点)	・話の内容を理解しようとして聞くことができる。 【関】	・「私」と「戸部君」の関係の変化について考え、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。(ワークシート)【読・書】	・振り返りシートを記入している。【関】

十 板書計画

今日の目標

私の夏実に対する心情変化のきっかけをとらえることができる。

あんどろ  
安東 みきえ

星の花が降るころに

○「私」の「夏実」への気持ちに変化が起こった「きっかけ」は何か。

・ P.100 L.16 P.101 L.1 戸部君がボールを磨いている様子を見て、自分の考えていたことが小さくくだらないことかと思えてきたこと。

・ P.103 L.6 P.103 L.8 掃除のおばさんの言葉で私が、銀木犀の葉は落ちるといふことを知ったこと。

○物語の中で、「私」の「戸部君」に対する思い・見方はどう変化したか。また、その根拠(どういった表現からそう考えられるのか)を書きなさい。

(変) (根) (変) (根)

・他の人の意見を聞いて、考えたこと・気づいたこと

十一 準備物

教師：教科書 ワークシート(三六枚)

生徒：教科書 ノート ファイル